



平成 21 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 日本開閉器工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大橋 智成
(J A S D A Q コード 6943)
問合せ先
役職・氏名 取締役 市川 忠夫
電話 044-813-8026

連結子会社間の合併に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 1 月 13 日開催の取締役会において、連結製造子会社である横浜パイオニクス株式会社と岩崎マニファクス株式会社を合併することを決議いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合併の目的

当社は産業用機器におけるスイッチ及びその周辺機器の製造及び販売を目的とする専門企業として発足し、創造技術と高品質並びに整備された品種体系を志向しつつ、スイッチ業界の我が国におけるトップメーカーたるべく運営してまいりました。

このたび製造子会社の経営資源の有効活用による経営の合理化、意思決定の迅速化及び製造部門の効率化を図ることを目的として、横浜パイオニクス株式会社を存続会社、岩崎マニファクス株式会社を消滅会社として吸収合併を行うことといたしました。

この合併により、製造及び管理コストの節減、製造工程の効率化を図り、経営資源の一体化による最適な生産体制を図ることを目的にしております。

なお合併期日（効力発生日）は平成 21 年 4 月 1 日を予定しております。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

| | |
|---------------|----------------------|
| 合併決議親会社取締役会 | 平成 21 年 1 月 13 日 |
| 合併決議子会社取締役会 | 平成 21 年 1 月 13 日 |
| 合併契約締結 | 平成 21 年 1 月 13 日 |
| 合併承認株主総会 | 平成 21 年 1 月 29 日（予定） |
| | 及び |
| | 平成 21 年 2 月 2 日（予定） |
| 合併の予定日（効力発生日） | 平成 21 年 4 月 1 日（予定） |

(2) 合併方式

横浜パイオニクス株式会社を存続会社とする吸収合併方式で、岩崎マニファクス株式会社は合併期日をもって解散します。

(3) 合併比率

当社の連結子会社同士の合併であり、合併による対価の交付はなされず、資本金の増加もありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当する事項はありません。

3. 合併当事会社の概要

(平成20年9月30日現在)

| (1) 商号 | 横浜パイオニクス株式会社 (存続会社) | 岩崎マニファクス株式会社 (消滅会社) |
|----------------|------------------------|------------------------|
| (2) 主な事業内容 | 電気機器部品製造業 | 同左 |
| (3) 設立年月日 | 昭和48年4月17日 | 昭和47年9月29日 |
| (4) 本店所在地 | 神奈川県横浜市 | 福島県いわき市 |
| (5) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 平松 恵 | 代表取締役 市川 忠夫 |
| (6) 資本金の額 | 95百万円 | 78百万円 |
| (7) 発行済株式総数 | 190,000株 | 99,000株 |
| (8) 総資産 | 116百万円 | 144百万円 |
| (9) 事業年度の末日 | 3月31日 | 3月31日 |
| (10) 従業員数 | 76人 | 47人 |
| (11) 主要取引先 | 日本開閉器工業株式会社 | 同左 |
| (12) 大株主及び持株比率 | 日本開閉器工業株式会社 98.8% | 日本開閉器工業株式会社 100% |

4. 合併後の状況

| | |
|---------------|-------------------|
| (1) 商号 | 横浜パイオニクス株式会社 |
| (2) 主な事業内容 | 電気機器部品製造業 |
| (3) 本店所在地 | 神奈川県横浜市 |
| (4) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 平松 恵 |
| (5) 資本金の額 | 95百万円 |
| (6) 事業年度の末日 | 3月31日 |
| (7) 大株主及び持株比率 | 日本開閉器工業株式会社 98.8% |

5. 合併による業績への影響・見通し

当社の連結子会社間での吸収合併であり、当期の連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上